

平成30年度 学校評価・自己評価表

神石高原町立神石高原中学校

経営目標 教育目標	【学校経営目標】 めまぐるしい社会の変化に対応し、自らの進路を切り拓く力を育てるとともに、地域に感謝し、社会に貢献しようとする意欲を持った生徒を育てる教育活動の推進 【学校教育目標】 主体的に学び 挑戦し 社会に貢献できる生徒の育成	めざす 生徒像	『夢・実現に向けて高い志をもち、絶えず努力し続ける生徒』 ・自ら意欲的に学習に取り組み、自らの未来に夢を抱きながら努力し続ける生徒 ・道徳、特別活動、部活動に主体的に取り組み、マナーとルールを重んじる生徒 ・体を動かすことをいとわない生徒 ・神石高原中学校の生徒として誇りをもつ生徒 生徒会目標「躍進～」
--------------	---	------------	---

評価計画						自己評価						学校関係者評価				
中期経営 目標	短期経営目標	重点	目標達成の方策 (具体的な取組内容)	評価項目・指標	目標 値	時期	達成 値	評価	達成状況	改善方策	担当者	評価			コメント	
												イ	ロ	ハ		
確かな 学力	1 学習意欲を 向上させ、 基礎学力の 定着を図る	1	(継続) 生徒の主体的な学習を促す授業を展開し、学習意欲の向上を図る。	学び合いの形態を取り入れた課題発見・解決学習を全教科で行い、年に一回は各教科で校内研究授業として実施する。	学び合いを通して、学習意欲が高まったと回答する生徒の割合 (アンケート数値)	80% 以上	中間									
		2	(改善) 多様な機会を設定・紹介し、自己決定させることで生徒のチャレンジ精神を養う。	各種検定試験、作文コンクール、海外研修等の紹介を継続的・計画的に行うことで、生徒の意欲を喚起させる。	コンクールや各種検定にチャレンジした生徒の割合 (合格・入賞実績・アンケート)	80% 以上	中間									
		3	(新規) 各教科において達成度30%未満の生徒を0%に近づける。	各教科で達成度30%以下の生徒の誤答状況等を分析し、それを改善する手立てを講ずる。	定期試験、各種調査の結果	5%未 満	中間									
		4	(改善) 中高連携を通して、『夢・実現』に向けたキャリア発達を図る。	乗り入れ英語授業(T.T)部活動、行事での交流を増やすことにより、上級学校への進学意欲を高める。	中高連携校への進学(希望)者の割合	60% 以上	中間									
豊かな 心	2 社会に貢献 できる生徒 を育成する	1	(継続) ・地域に貢献できる生徒を育成する。	学校だよりの中に生徒が地域を紹介するコーナーを設けて、月1回を目安に発行する。	地域のために自分は何かをしていきたいと思う生徒の割合	80% 以上	中間									
			各委員会でその特色を生かしたボランティア活動を計画・実行する。	ボランティア活動後の振り返りにおける、自己肯定感の向上	80% 以上	中間										
		2	(新規) ・自分の役割を果たすことができる生徒を育成する。	委員会や学級活動を通して、一人一役を担えるよう活動を仕組む。	自分に役割に対するやりがいの自覚	80% 以上	中間									
			日本一の校舎・環境整備を目指し、きれいに掃除をするポイントを考えさせ、整理する。	掃除状況等の質的向上	80% 以上	中間										

【自己評価 評価基準】 A：100%≦(目標達成) B：80%≦(ほぼ達成)<100% C：60%≦(もう少し)<80%	【学校関係者評価】 イ：自己評価は適正である。 ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。
---	---